

別記様式（第4条関係）

会議録（令和6年度大垣市地域創生総合戦略推進委員会第1回会議）

議 題	議題(1) 第2期「水の都おおがき」創生総合戦略の評価（案）について 議題(2) 令和5年度地方創生関係交付金及びまち・ひと・しごと創生寄附活用事業（企業版ふるさと納税）の効果検証（案）について 議題(3) デジタル田園都市国家構想交付金事業（デジタル実装タイプ）の令和6年度実施事業について		
日 時	令和6年10月29日（火）	場 所	大垣市役所 4階 情報会議室
	10:00～11:10	事務局	企画部地域創生戦略課
出席者 (欠席者)	茂木 七香《副委員長》、竹中 昌子、 長瀬 ちえ子、松岡 敦子、寺元 陽子、 三輪 千加子、三輪 正直、松本 正平、 名和 善昭、西 哲也、竹中 哲夫、 若山 謙一、山田 孝二、矢野 修平、 鳥居 保徳（計15名） （欠席者：竹内 治彦《委員長》、 杉田 邦隆、田中 慎也、川瀬 久子、 佐藤 繁、長谷川 郁代（計6名））	傍聴者数	1人
		記録方式	全文・ 要約
【発言】 議題(1) 第2期「水の都おおがき」創生総合戦略の評価（案）について 事務局より第2期「水の都おおがき」創生総合戦略の評価（案）を説明したところ、委員より次の質問及び意見があった。 ①基本目標「元気があるまちづくり」、「広域連携による魅力あるまちづくり」の数値目標及び各目標における基本施策のK P Iを見ると、働く人は増えてるが、住んでる人は減っているのにはどういった理由があるのか。 ②基本目標「安心できるまちづくり」の基本施策3「健やかで安心できる暮らしの実現」のK P I「特定健康診査受診率」において、実績値（34.4%）が基準値（31.3%）を上回ってはいるが目標値（60%）には遠く及ばないにも関わらず、評価がBというのは甘いのではな			

いか。

(事務局回答)

①転出転入の届をされる際の手続きで記載する理由を集計すると、転出される方は20代前半が多く、市外の企業に就職をされる等があります。一方で30代以上の子育て世代は逆に転入してくる方が多いということが分かっている。自然減による人口減はどうしても進んでしまうが、市では住宅取得の利子補給等、子育ての支援施策について様々な取り組みをしているので、子育て世代の方には選んでいただいているのではないかと考察している。

②評価は基準値及び目標値に対しての実績値の評価として機械的に当てはめている。評価方法として実績が基準を上回ると、必然的にAかBのどちらかになるようになっている。特定健診受診率の向上については今後も力を入れていく必要があると考えている。

議題(2) 令和5年度地方創生関係交付金及びまち・ひと・しごと創生寄附活用事業（企業版ふるさと納税）の効果検証（案）について

事務局より令和5年度地方創生関係交付金及びまち・ひと・しごと創生寄附活用事業（企業版ふるさと納税）の効果検証（案）について説明した。委員からの意見は特になかった。

議題(3) デジタル田園都市国家構想交付金事業（デジタル実装タイプ）の令和6年度実施事業について

事務局よりデジタル田園都市国家構想交付金事業（デジタル実装タイプ）の令和6年度実施事業について説明したところ、委員より次の意見があった。

①デジタル地域通貨「ガキペイ」について、店主の高齢化が進んだ商店街の中であっても、100店舗以上の参加があり、非常にスムーズに行うことができた。来年以降も引き続き実施していきたい。

【結論（成果）】

・委員から貴重な意見をいただき、第3期「水の都おおがき」創生総合戦略における適切な事業推進と評価につなげることができた。

特記事項